



あゆみ

No. 145
平成30年12月17日
編集発行：茶山寮・第二茶山寮
天草市本町下河内680
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766
FAX 0969-22-5090

今年もサンタに会えました。

サンタさんからのプレゼントやクリスマスケーキなど、利用者さんもとても喜んでおられました。



『施設長室でのひとこま』

施設長 鮎田 一夫

暖かい師走と思っていた矢先、九州にも寒波がやってきました。冬の天草は風が強く、黄色く色づいた落葉樹もこの風でやがて裸木になっていきそうです。冬空と共に平成三十年が暮れようとしています。茶山寮、第二茶山寮及びグループホーム等の利用者の皆さんとなんとか無事に今年一年を終われそうなのも、いろいろな形でご協力頂いた皆さんのおかげと本当に感謝いたしております。さて、私のいる施設長室には毎日いろいろな人が出入りします。職員、来訪者、そして利用者です。「施設は利用者の家であり、施設の主体は利用者である」というのが私のモットーです。その利用者にとって自分が入ることのできない部屋があるというのはいかなるものかという考えから、職員のロッカールームと危険な場所（例えば浴室など）以外は原則利用者は自由に入出入りしています。朝から新聞を読んでいるとちよつと顔を出して「やあ」と朝の挨拶をしてくれる人、数日留守にすると「どこいったのー」と心配そうに覗きに来る人、家族に電話したいと訴えに来る人、ただなんとなくやってきて、とりとめの無い話をして満足して出ていく人。そのたびに仕事は中断させられるのですが、それは少しも苦になりません。時に

はこっそり利用者とおやつを食べたりします。私達も時々仕事の合間に一服したり、とりとめの無い話をしたりしないでしょうか。愚痴りたくならないでしょうか。自分の家では好きかってしていいでしょうか。利用者も同じです。ノーマライゼーションという言葉が声高らかに謳われていますが、それは決して特別なことをしなくてもこんな日常にも転がっています。大勢と一緒に暮らす施設では決して普通の家庭と同じような生活はできません。しかし、家にいるような気持ちで生活することはできると思っています。ここが自分を受け入れてくれる場所、いつ何時でも帰って行ける場所という気持ちを持ってもらいたいです。そのために最も必要なことは、利用者の皆さんの心を檻に入れないようにすることです。物理的制約はなくすことはできませんが、精神的な制約はどこまでも減らすことが出来ます。私達が最も腐心しなければならぬのは、そのことではないでしょうか。来年は亥年です。理想を見失わず邁進していきたいと思えます。本当に一年間お世話になりました。皆様もよいお年をお迎えください。

サービスの現場より



『日中サービス支援型
共同生活援助施設について』
副施設長 鮎田 公博

国では今年度から障害者の重度化、高齢化に対応すべく新たな類型として「日中サービス支援型共同生活援助」（以下「新型GH」という）を創設されました。

この新型GHにおいては、常時の支援体制を確保するため、昼夜を通じて一人以上の世話人又は生活支援員を配置することや、重度化に対応するため看護師の配置も必須とされており。又、定員が十一名以上の場合は、ユニットごとに一人以上の配置が必要とされています。更に、短期入所を併設し、地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することも必要であります。

このような国の動向、当施設や地域の状況を踏まえすと、新型GHの設置が必要であると認識しております。

このため、当法人でもこの新型GHの新設の準備を開始したところです。現在、事業用地の取得のため、農地法の規定に基づく転用許可申請手続き中であり、資金計画や運営のための検討を進めております。

この新型GHが、待機者が多く介護保険施設などを利用困難な障害者の方にとって一つの朗報となることを祈念して具体化に努めて参りたいと考えておりますので、関係各位の御理解と御協力を願います。



『合同活動で目指すもの』
支援副主任 田中 正行

新たに生まれ変わった苔山寮、第二苔山寮も四年が過ぎようとしています。これまで、創立記念日や敬老会、クリスマス会など大きな行事は両施設合同で行って来てはいましたが、もつと、普段の流れの中で利用者間の交流が深め合えないものか？ということの手始めに別々に取り組んでいた歩行を一緒にやってみようということになり、合同での歩行を始めてみました。しかし、ただ皆で集まって歩いて終わりではなく、何か特典をと周回毎にスタンプを集めるスタンプラリー形式で行ってみたいことを企画。勿論、体力に自信のある方はどんどん回って頂き、体力に自信のない方も多くを目標に、又、歩くことに自信のない方々についても、職員と一緒に外気浴の時間にと、利用者個々に合った支援を目標に行っています。

当初は、自治会などで事前の説明を行ってみたいところ、面倒臭そうにしていた方も、始めてみれば誰よりも長い距離を歩きスタンプの数を自慢されたり、「あと一回でスタンプの列が揃ったのに！」と悔しがられる方、逆に、ゆっくりと外気浴を楽しんで居らっしゃる方と様々です。また、職員間でも、日頃中々話す機会が少ない隣の利用者の方とも話しが出来、とても良い時間だと好評です。

現在は合同歩行ですが、今後は互いの日中活動や作業への参加、余暇時間には、互いの施設へ気軽に足を運び雑談を楽しめるよう、又、将来的に両施設間で利用者の移動が行われた場合でも、互いに打ち解け易い環境を整えておけるような取り組みに努めて行ければと思います。



『ストレス解消法がある私』
衛生委員長 若田 雅哉

私達衛生委員会では、産業医の協力のもと、職員のメンタルヘルスについて周知、ケアを進めています。一言にストレスと言いますが、個々それぞれで感じ方や度合い、解消法と違いがあり、『これが』という答えは一つではありません。そこで年に二度実施しているストレスチェックで自分のストレスを分析していただいています。一昨年、昨年と比較することで自分のストレスと向き合い、あると感じた場合や気になった場合委員に相談があれば、産業医による面接相談を奨めています。ない場合の方も希望があれば受け付けています。

この他、『私のストレス解消法』と称し、職員の解消法を紹介しています。DVD鑑賞（感動した映画や元気になる映画の紹介）やアロマテラピーで香りを楽しむ（方法・香りの種類）等を掲示しています。今後も続けて行く予定です。また、職場改善アンケートや産業医の講話等実施し、職員へのメンタルヘルスの周知を行っています。職場、プライベートで楽しいこともたくさんあります。もちろん嫌な事も多少なりともあります。もし嫌なことがあったとき、気持ちを切り替えることは難しいことだと思います。何でも良いと思います。そうなる前に自分のストレス解消法を見つけていることで、少しでも気持ちを楽しんでいたきたいし、そのサポートができればと思っています。

小さいことに気付き合える、小さいことを話し合える職場を目指します。



『障害者虐待防止・権利擁護 研修会に参加して』

支援員 沢村 仁美

施設入職二年以内の職員対象の研修に参加させて頂きました。講義のテーマは「障害者虐待防止法の理解・アンガーコントロール」について事例を織り交ぜての講義でした。講師の方が伝えたい事として①支援のミスや権利侵害の芽を恐れない↓隠さない②気づかない感性の鈍さ傲慢さを恐れる③見て見ぬふりが虐待を招く④利用者は言わない・障害特性へのすり替え⑤必要のない身体拘束は虐待である⑥行動障害は環境や支援によって引き起こされる⑦障害者の行為や言葉に興味を持つ⑧支援者の心のコンディションを良くする⑨生活の楽しみが大事、アイデンティティを変える。虐待をなくすためには障害特性や利用者自身に興味を持ち、良い支援を実現することで支援者がやりがいを感じ障害者を幸せにする。

アンガーコントロールとは、怒りの感情と上手に付き合うことです。イラショナルビリーフといわれる絶対的信念(こうあるべきだという信念)が介入すると怒りが出やすい。怒りの対応のしかたとしてタイムアウトがあります。怒りが出たらエスカレートする前にタイムアウト自分にかけて休憩をとります。いったん怒りが出たらアドレナリンがあふれ、視野が狭くなり、攻撃、防衛闘争しかできなくなります。ゆっくりと腹式呼吸して気持ちを落ち着かせ言葉のスピードを遅くします。現場で直ぐに使える方法だと思えます。今回学んだ知識をチームで支援に活かせるようこれからも努めてまいります。



『くまもと障がい者芸術展』

支援員 山口 智史

十一月十九日～二十五日までの一週間、くまもと障がい者芸術展が熊本県立美術館分館にて開催されました。利用者から「応募したい」との事で苔山寮からは五名、第二苔山寮からは一名となごみ班からの出品をサポート、二五日の最終日に、出品者他数名の利用者の方達と一緒に見学に行きました。美術館へ入館。他施設利用者の素晴らしい作品を見ながら、思わず「スゴイ」と口に出たり、気に入った作品があれば指をさして教えて下さいました。順番に見て回り自分の作品が展示されているのを見つけると、「あった」と少し恥ずかしそうに喜んでおられ、不思議な感覚で自分の作品を見ておられました。今回の事が日中活動の良い刺激、参考になるところもあり、また、今後の作品制作の原動力となり、持てる可能性を引き出せるきっかけとなればと考えています。



『啓明会総合防災訓練』

支援主任 田中 直

去る十一月六日、グループホームを含め五施設総勢百四十名が参加しての啓明会総合防災訓練が実施された。福祉施設に入所されている利用者の方の生活形態と災害に伴う利用者の方の安全確保を最優先として捉え、啓明会では法定訓練回数を上回る年間二回の総合防災訓練の他、毎月一回の避難訓練と近隣消防団との合同避難訓練又大阪波対応訓練を含めたJアラート訓練・不審者対応訓練も実施している。

当日は晴天に恵まれ各施設避難訓練から訓練開始となった。苔山寮についても、女性更衣室を火災想定場所とし、非常ベル鳴動と同時に初期消火班・避難誘導班・安全防護班・通報班等が連携し、六一名の利用者の方を、七分四二秒の速さで迅速安全に避難させる事が出来ていた。その後場所を移動して訓練セットを活用し乍ら、通報訓練を各施設一名づつ、「利用者が入浴中意識不明、呼吸無し」等の想定メモを渡し、訓練監修の消防職員と訓練を実施した。近年スマホやSNS等の普及や熊本地震等での一人一人の防災意識の向上に因り、スムーズに通報出来ていた。最後にオイルパンに点火しての消火訓練では、消火器の取扱い説明後、各施設一名づつ参加し、火点確認し・ピンを外し・燃焼実体に噴射・消火確認の要領でスムーズに消火出来ていた。訓練中の事故無く、無事に終了した事に安堵した。



☆ 苓山寮・第二苓山寮 ☆
天草島内一泊旅行



☆ 苓山寮 ☆
天草市内一泊旅行



☆ 苓山寮・第二苓山寮・グループホーム ☆
長崎方面一泊旅行



☆ 第二苓山寮・グループホーム ☆
東京二泊三日旅行

☆ 思い出 ☆

旅行へいってきました！



第二苓山寮利用者さん
による合唱「赤とんぼ」



苓山寮利用者さん
による合唱「ごつね」



職員による
合唱「この街で」



ボランティア希洲社中
による舞踊

おかげさまで五一年目の創立記念日を迎えることができました。これもひとえに利用者様、御家族の皆さま、地域の皆さまのあたたかいご支援とご愛顧の賜物であり、心より感謝いたしております。今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

創立記念交流会

十一月十六日

コカ・コーラ交流会 ～楽しみの共有～



12月1日、第41回目を迎えたコカ・コーラ交流会に、利用者の皆さんと参加してきました。演奏に合わせて踊ったり手拍子をしたりと、皆さんが一体となって楽しまれているのを感じる事が出来ました。イエロージャケッツの生のバンド演奏に感動を覚えると共に、利用者さんやコカ・コーラの営業所の皆さんと「楽しみを共有、する機会を頂けていることに感謝した一日でした。



♪イエロージャケッツによる生のライブ♪
/リ/リ/の曲に利用者の皆さんも思わず前に出て踊り出されました。

フラダンスサークルが
らも踊りを披露し華やかに
会場を盛り上げます。



第二香山東のバンド
ベル演奏は美しい音
色に癒やされました。

クリスマス会

12月14日

今年もボランティアの方をお招きし、クリスマスのお話を大きな紙芝居でして頂き、利用者の方にも分かり易く皆さん熱心に見ておられました。

その後は、利用者合唱・仮装カラオケ大会で盛り上がり、とても良いクリスマス会となりました。昼食のバイキングもとても好評でした。



ボランティアの皆様、毎年、ありがとうございます。
利用者の皆さんも熱心に聞かれました。

バイキングは種類がとても豊富で、皆さんどれを食べようか迷っていらっしゃいました。



【新利用者紹介】



久保 涼子さん

十二月より、第二荅山寮を
利用していただいています。笑
顔のすてきな涼子さん、これ
から楽しく過ごしましょう。

【新職員紹介】

緒方 亜希 さん（荅山寮支援員）

小場佐 美樹さん（第二荅山寮支援員）

十一月より、二名の新しい職員が仲間
入りです。どうぞよろしくお願ひします

【お悔やみ】

内野 節子さん

昭和四七年より四六年間、荅山寮で過ごされま
した。心よりご冥福をお祈りいたします。

『フラダンスフェスティバル』

フラダンスサークル、第百六五回の活動は毎年
講師である池田先生を中心に開催されている発表
会への参加でした。利用者の方たちも毎年参加を
とても楽しみに練習を重ね本番に望まれました。
本番前は緊張の言葉も聞かれましたが、いざステ
ージに立つと大きな声を出しながら曲名「ふるさ
と」に合わせ身体を大きく動かし練習同様に踊る
事が出来ました。又、参加を重ねる事で、他出演
の皆さんにも「上手だったね！がんばったね！」
等のたくさんさんの声を掛けて頂く
ようになり、外部での交流が少
しずつ利用者の方たちと同様に
支援員の私達もできる事を嬉し
く思います。これからもフラダ
ンスを通して交流できる場を大切
に利用者の方たちと踊っていき
たいと思います。



シリーズ1 日常生活の風景



松田 直樹さん

荅山寮へ五月に入所さ
れ、七ヶ月が経ちました。
ドライブが大好きで土・
日にあるドライブにはよ
く参加されております。

花の苗を植えたり、皆でバレーをしたりと日々を
楽しんでもらいたいです。

谷口 智さん



荅山寮に入所されて一
年になられました。御家
族の事がとても大好きな
方で、月に一度のご家族との外出を、いつも楽し
みにされています。笑顔が素敵な爽やかイケメン
で、施設の女性利用者さん達から『智君格好いい』
と大人気です☆

金子 裕子さん



九月より荅山寮で生活をさ
れています。お喋りするの
が大好きで、荅山寮に來ら
れた早々からお友達が沢山
出來て、毎日楽しく過ごさ
れています。お友達や職員の名前を覚えるのも早
く、漢字もスラスラ書く事が出來ます。又、食べ
る事が大好きで、給食も毎回完食し、風呂上がり
のおやつを一番楽しみにされています。

行事予定

十二月

二三日 第九コンサート見学

二七日 餅つき

オーブンカフェ

二八日 御用納め

一月

元旦

四日 御用始め

七日 鬼火焚き

編集後記

十二月に入り本格的に寒くなってきました。
皆様体調はいかがですか？風邪など引い
てないですか？あつという間に師走です！こ
の間「あけましておめでとうございます」と
言ったような気がしますが、歳のせいかな本當
に一年が早いと感じます。

本誌「あゆみ」も今年最後の発行となりま
した。関係機関の皆様、今年一年本當にあり
がとうございました。十二月から一月にかけ
ては、クリスマスだった
りお正月だったり、楽し
いイベントも盛りだくさ
んです。疲れを溜めな
い様に暖かくして睡眠を
良くとって、どうぞ良い
お年をお迎えください。
来年も宜しくお願ひしま
す！

